

災害救護速報

平成 22 年 7 月 20 日 (火)

(15:00 現在)

日本赤十字社 事業局

救護・福祉部 救護課

(Tel. 03-3437-7084)

平成 22 年 7 月 12 日からの豪雨災害に対する日本赤十字社の対応について(3)

平成 22 年 7 月 12 日 (月) からの豪雨災害における日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

* 本速報の内容・数値等は、随時更新されます。

* 下線部は、前回速報からの追加・変更箇所であること。

1 被害の概要

総務省消防庁発表情報 (7 月 18 日 15 時 00 分現在) より抜粋。

(1) 被害の状況

県名	人的被害 (35 名)				住家被害 (5,904 棟)				
	死者	行方不明	重傷者	軽傷者	全壊	半壊	一部損壊	床上浸水	床下浸水
京都府								9	42
広島県	<u>4</u>	<u>1</u>		5	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>23</u>	<u>184</u>	<u>459</u>
山口県					<u>2</u>	<u>3</u>	<u>16</u>	<u>782</u>	<u>662</u>
福岡県				<u>3</u>	<u>5</u>		<u>29</u>	<u>174</u>	<u>481</u>
その他	<u>8</u>	<u>6</u>	<u>4</u>	<u>4</u>	<u>9</u>	<u>5</u>	<u>63</u>	<u>772</u>	<u>2,177</u>
合計	<u>12</u>	<u>7</u>	<u>4</u>	<u>12</u>	<u>19</u>	<u>12</u>	<u>131</u>	<u>1,921</u>	<u>3,821</u>

(2) 災害救助法の適用

①適用市町村 山口県 山陽小野田市 (さんようおのだし)

・法適用日 7 月 15 日 (木)

②適用市町村 広島県 呉市 (くれし)

・法適用日 7 月 14 日 (水)

③適用市町村 広島県 庄原市 (しょうばらし)

・法適用日 7 月 16 日 (金)

2 日本赤十字社の対応

(1) 災害対策本部の設置

日本赤十字社山口県支部

7 月 13 日(火) 7:30 山口県支部災害対策本部設置

20 日(火) 10:15 山口県支部災害対策本部廃止

日本赤十字社福岡県支部

7月14日(水) 9:00 福岡県支部災害対策本部設置
15日(木) 15:00 福岡県支部災害警戒本部へ移行
16日(金) 19:00 福岡県支部災害警戒本部廃止

(2) 医療救護班の派遣

【広島県支部】

庄原赤十字病院にて救護班2班、病院職員80名が待機した。(7月17日12:00待機解除)

【山口県支部】

小野田赤十字病院から看護師2名、主事1名を山陽小野田市の避難所へ派遣し、こころのケア・健康相談を実施した。(7月16日/応対人数 6名)

【福岡県支部】

福岡赤十字病院にて救護班が待機した。(7月14日19:00待機解除)

(3) 救援物資の配分状況(7月20日 9:00現在)

【滋賀県支部】

大津市内において次の物資を配分した。

・毛布 26枚
・緊急セット 9個

【京都府支部】

京都市北区において次の物資を配分した。

・毛布 40枚

【広島県支部】

広島県内において次の物資を配分した。(大竹市、神石高原町、世羅町、江田島市、庄原市)

・毛布 1,183枚
・緊急セット 145個
・安眠セット 350個
・バスタオル 143枚
・寝衣(大人) 178着
・学用品セット 15個

【山口県支部】

防府市内において次の物資を配分するために防府市災害対策本部に搬送した。

その他、県内各避難所において次の物資を順次配分した。(美祢市、山陽小野田市、下関市)

・毛布 1,420枚
・安眠セット 530個
・緊急セット 138個
・バスタオル 400個

【福岡県支部】

福岡県内において次の物資を配分した。(大野城市、直方市、那珂川町、久留米市、北九州市)

- ・毛布 200 枚
- ・安眠セット 15 個
- ・緊急セット 174 個
- ・タオルセット 60 個
- ・医薬品セット 30 個

(4) 防災ボランティアの活動

【山口県支部】

山陽小野田市において、山口県防災ボランティアリーダー、岩国赤十字災害救護奉仕団員が被災家屋における土砂の撤去作業等を実施した。

(7月17日(土)～7月19日(月) 延べ14名)

3 義援金の受付

山口県支部、広島県支部にて受付準備中

4 その他

- ・救援物資等の応援状況

広島県支部 (毛布 700 枚、安眠セット 250 個を山口県支部へ)